



本日の  
プログラム

## 就任挨拶(2) 副会長、各理事

### 就任挨拶(1) 会長、幹事

井上善博 会長

歴史と伝統ある札幌東ロータリークラブの第64代会長として、一年間努めさせていただきます、井上善博です。2022-23年度RI ジェニファー・ジョーンズ会長は、年次テーマに「IMAGINE ROATRY」を掲げ、多様性、公平さ、インクルージョンをロータリー文化のあらゆる場面に取り入れることへのコミットメントをさらに強めました。その行動規範として「他者を尊重する言葉を使う・サポートを示す・温かく迎え入れるインクルーシブな環境を助長する・多様性を重んじる」ことが掲げられています。

我がクラブにおいて今年度は、「ロータリーの奉仕理念を念頭に行動しよう」をテーマに「ロータリーの重点分野を意識し、すべての人と社会が持続可能な豊かさを実現することを目指しSDGs運動を推進する」をサブテーマに活動を展開したいと思います。ロータリーでは、高潔性と高い倫理を重視しています。その中でロータリアンによって生みだされたのが「四つのテスト」と「ロータリアンの行動規範」の2つであり、職場や生活のあらゆる場面で倫理的行動を実践するための指針となっており、職業奉仕の根幹だと考えています。ロータリーは、奉仕をする人の団体であり、奉仕する人を育てる団体だと言われます。「超私の奉仕」と「最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる」は、ロータリーの理念と行動理念となっています。例会は、職業人が集い、時間を共有し、親睦を深め、互いに学びあう、絶好の機会であります。例会の場で、様々な考え方に接し、自らを高め、人脈を作りそれぞれの職業活動を通じて人創りを行い、さらに自分を高めていくための場でなければならないと思います。ロータリーのリーダーシップについて、ルイス・ビアンテ・ジアイ元RI会長が述べております。「ロータリーのリーダーシップとは、他の如何なるリーダーシップとは異なることを理解して欲しい。誰かが指令し、それに従う「縦型のリーダーシップ」ではなく、皆「超私の奉仕」という同じ船に乗っている「横型のリーダーシップ」であると。

現時点で、札幌東ロータリークラブは110名の会員が集います＝110名のリーダーがいます。そのリーダーの知識と知恵をクラブの奉仕活動に活かし、社会に向けて発信出来れば、会員がロータリー理念に賛同する仲間を呼び寄せ、クラブの永続的發展に結びつくと考えています。ロータリーの理念を考えて行動し、「これはダメではなく、こうすればもっといい」を基本にしたいと思えます。

札幌東ロータリークラブのこの開かれた歴史と伝統を引き継ぎ、永続的發展に寄与するため理事・役員が丸一となって精進していきたいと思えます。会員皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます、会長就任の挨拶とさせていただきます。



小山 茂 幹事

井上会長年度が、スタートしました。私は2014(平成26年)年3月6日、菊地章会長、高橋徹幹事の時に、佐藤芳郎会員・菅野龍雄会員・川幡宏一会員の推薦により入会いたしました(9年目、会員番号708)。

前年度(7/1～6/30)という最も長い1年間、高橋会長、高山幹事、お疲れさまでした。退任挨拶を見て、1年前の会報を開いてみました(ちなみに一昨年も確認しました)。

札幌東ロータリークラブは、「歴史と伝統」を常に意識しながら、良いところは継承し、時代に合わせ変化させなければならぬところは会員各位のご協力のもと進化しなければならないと考えています。

井上会長挨拶に運営方針が記載されていますが、昨年度に行われた奉仕精神の継続と奉仕事業を列挙すれば、「3000回記念例会」、「インターアクトクラブ創立50周年」、「ろう者とのフットサル交流会」、「全国ユニバーサルカーリング大会」など、歴史と伝統が築き上げ、また時代の要請に対応した事業が行われました。また、本日配布させていただきましたロータリーの友7月号の73ページに前社会奉仕委員長の高橋中会員の記事が紹介されております。是非ご覧ください。

コロナ禍の中でも、感染に注意を払いながら、活動を行うことができる本当に素晴らしいクラブであると思えます。

井上会長年度でも多くの事業の実施が予定されています。札幌東ロータリークラブの活動にご参加いただく機会を増やすために、2つの委員会を兼任していただく会員を増やしましたので、奉仕活動ならびにファイヤーサイドミーティング(FSM)など、例会以外の活動にも積極的にご参加いただきたく存じます。

最後になりますが、井上会長年度が会員各位にとって、明るく、楽しく、心地よく、会うたびに参加して良かったと思える運営を心掛けていきたいと思えます。1年間よろしくお願ひいたします。